

標題 松江市農林水産祭で美味しまね認証をPR！

(ダイジェスト)

令和元年10月27日(日)に松江総合運動公園中央広場で開催された松江市農林水産祭へ「松江地域GAP推進協議会」が参加し、来場者へGAP(美味しまね認証)を知ってもらうための活動を行いました。

当日は松江農林高校と連携して美味しまね認証ブースを設置し、管内認証者のパネル展示、チラシ等の配布、そしてステージ発表によりPRしました。

令和元年10月27日(日)、松江総合運動公園中央広場で『地産地消で地域の未来を築こう、松江の農林水産業』を祭典テーマに松江市農林水産祭が開催され、松江市・JAしまねくにびき地区本部・東部農林振興センターで構成する「松江地域GAP推進協議会」が参加しました。

当日は美味しまね認証のパネル展示等を多くの人に実際に見て・知ってもらうため、認証産品(春菊、小松菜など)を販売している松江農林高校の隣にブースを設置しました。来場者の中には「美味しまね認証制度」に興味・関心を示す方もおり、少しずつ認知度が向上してきていると感じられました。

PRは次の4点の方法で実施しました。

- ①パネル等の展示(管内の認証者紹介パネル:キャベツ、ブルーベリー、菌床しいたけ、原木しいたけ、ミニトマトなど)
- ②来場者へのチラシ等を配布
- ③実際に認証を取得している農林高校生とステージ発表(午前・午後の2回)
- ④GAP相談コーナーの設置

今後も当普及部では様々な機会でも美味しまね認証、ゴールド(上位認証)について周知を図るとともに、取り組む生産者が増えるよう農政部、市、JA等の関係機関と連携し、積極的に推進していきます。



ステージ発表の様子



ブース対応の様子